



# JICA 筑波 絆で結ぶ国際協力 — 世界と TSUKUBA —



## 日本の水管理から学ぶ ～持続的な農業の基盤づくり～

### 日本の「カンガイハイスイ」

「かんがい排水」は普段生活していて耳にする言葉ではないかもしれませんが、かんがい・排水施設の整備や補修は、干ばつに悩まされる国だけではなく世界の農業に共通する重要な課題なのです。JICA 筑波では、こうした施設の整備・管理に加え適切な水管理を日本の経験から学ぶ「流域水管理に基づくかんがい排水」コースを実施しています。研修では、日本の農家が国や県、自治体とともに実施してきた「参加型」の水管理についても学んでいます。



6 か月のコースで「カンガイハイスイ」という言葉もバッチリ覚ええました

### 技術を身につける(ハード)

コースではかんがい排水の仕組みを理解するための理論を学び、そのうえで調査、設計、維持管理の手法と技術を身につけます。JICA 筑波の実習棟には水理実験、土質実験、コンクリート試験を行う設備があり、センター内で様々な実習を行っています。これは水路にゲートをつけ開閉することで水の流れにどのような変化が表れるか調べる実習のようすです。こうした実習を通じ研修員は帰国後に利用できる実践的な技術を習得し、彼らが所属先で共有することで組織の全体的な技術レベルを向上させることが期待されています。



### 水管理の事例から学ぶ(ソフトとハード)

研修員の多くは土木関連のエンジニアですが、研修ではかんがい排水の技術だけではなく、効果的に水管理を行うために必要な制度や方法論、戦略といった「ソフト」な側面も学んでいます。具体的には、農業用水を実際に使う農家の方が、国や県、自治体と共に水の管理に主体的に関わる「参加型」を導入するための仕組みや手法を身につけ、日本の水利組合や土地改良区といった組織の関わりを学ぶために実際の現場を訪問見学しています。過去には日本の水利組合にならった組織を設立し、参加型水管理を自国で実践している研修員もいます。



### 【研修コース情報】

研修コース名	流域水管理に基づくかんがい排水
問い合わせ先	JICA 筑波 代表メールアドレス: <a href="mailto:tbicttp@jica.go.jp">tbicttp@jica.go.jp</a>